

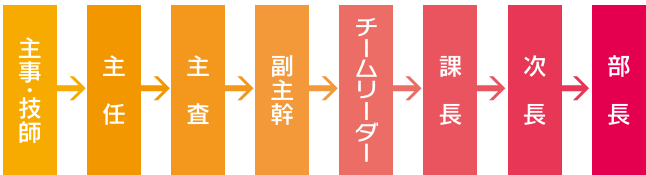
給与制度・待遇

人事異動

職員は、おおむね3～4年のサイクルで異動します。毎年、所属長からのヒアリングがあり、異動に関する希望(希望する仕事や勤務地、家庭状況などの配慮してほしいこと)を伝えることができます。県外事務所や人事委員会事務局などの行政委員会に異動することもあります。必ずしも希望どおりにはなりません、幅広く経験したり、専門性を深めたりしながら、スキルアップしていくことができます。

配属・昇任

職種によって異なりますが、採用当初は、本庁、地域振興局など様々な職場に配属されます。昇任は、各人の能力や勤務実績を総合的に評価して行われ、基本的なパターンは次のようになっています。



勤務時間

●勤務時間 原則、午前8時30分～午後5時15分(月～金曜日)

●完全週休2日制 土曜日・日曜日・祝日は休み

※いずれも一部施設等へ勤務する職員を除く

休暇

休暇は大きく分けて4つの種類があります。

●年次休暇 年間20日まで(採用された年は15日)

▶1時間単位で取得可能

▶20日を超えない範囲で、翌年への繰り越しが可能 ※最大年間40日

年次休暇 取得日数	秋田県職員の平均		民間の平均	
	令和5年		令和5年	
	13.7日		11.0日	

(R6人事委員会調査、R6就労条件総合調査)

●特別休暇 夏季休暇5日、結婚休暇7日、

ボランティア休暇5日など、全23種類

●病気休暇 ●介護休暇(配偶者、父母等の介護)

給与

職員の初任給の見込みは、下表のとおりです。

UP
しています!

試験の種類		初任給の標準
大学卒業程度	事務・技術	227,201円
	保健師	260,335円
短大卒業程度	事務・技術	212,095円
高校卒業程度	事務・技術	195,880円
採用選考	獣医師・薬剤師	250,969円

このほか、大学院などの修了経歴や、勤務経験がある場合には、学歴や勤務経験年数に応じた加算があります。さらに、扶養手当・住居手当・通勤手当・時間外勤務手当などの諸手当のほか、民間のボーナスに当たるものとして、期末・勤勉手当が6月・12月の年2回支給されます。

職務経験者

職務経験者(行政職)の初任給の目安は下表のとおりです。

なお、職務経験の実績の詳細を考慮し、支給額が決定されます。

区 分	職 位	初任給の目安
大学卒・27歳・職務経験5年	主事	249,156円
大学卒・30歳・職務経験8年	主事	262,248円
大学卒・35歳・職務経験13年	主任	294,476円
大学卒・40歳・職務経験18年	主査	318,545円

福利厚生

職員が、心身ともに健康で充実した生活を送ることができるよう、様々な厚生制度があります。また、病気・負傷・休業・災害・退職・死亡などに関して、職員やその家族のために給付を行う共済制度があります。

健康管理

全職員を対象とした年1回の定期健康診断や、一定年齢以上の職員を対象とした人間ドック・脳ドックのほか、メンタルを含む健康の保持・増進のための保健指導や健康相談などを実施しています。

職員住宅

異動に伴う負担軽減のため、職員公舎が県内各地域(秋田市、鹿角市、北秋田市、大館市、能代市、由利本荘市、大仙市、横手市、湯沢市)、東京都内、大阪市、名古屋市、福岡市に整備されています。

共済組合・互助会からの給付・貸付

職員や家族が、病気やけがをしたときは、療養費などの支給が受けられます。また、教育・住宅の取得・災害などで臨時に資金が必要になったときには、貸付を受けることができます。

キャリア選択型人事制度

専門性を持った
行政・一般事務職として
キャリアアップ!

自らの将来像の実現に向けて、高いモチベーションをもって業務に取り組むことができるよう導入した制度です。

職務分野(キャリア)を選択した職員は、ジョブローテーション期間の終了後、選択した職務分野を中心にキャリアを経験し、将来的な専門人材としての成長を目指します。特定のキャリア選択をせず、幅広い業務を経験できるゼネラリストを目指すことも可能です。

【対象】行政職・一般事務職

キャリア選択可能な職務分野

